

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービスラビット

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		療育スペースやプレイルーム、学習スペースなどをわけている	
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		視覚支援を取り入れ、机やイスは本人に合ったものを使うなどその都度できることを考え配慮しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日の掃除を徹底し業務の一環にしています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		日々職員同士で話し合いをする機会をつくっています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者アンケートを職員で共有できるよう会議で発表しています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		正確に記載できるように努めています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		相談員や他事業所の方に意見を求め改善に日々努めています	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		月に1回車内研修、年に数回外部研修を行っています	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		しっかりと担当を決めニーズの把握につとめそれをもとに全体で話し合うようにしています	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		職員全員が同じツールを使うようにしています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2		相談支援員や保育園・幼稚園と担当者会議棟で情報を共有し作っています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		日々リーダーを変え日案をたてています	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		放課後等デイサービスとも連携し縦割りの良さを生かしながら制作しています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝の朝礼を義務づけ、打合せ等を行っています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		個別記録を付け、皆で共有できるようにしています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		連絡帳、個別記録、業務日誌を付け検証改善できるようにしています	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		モニタリング表を作り定期的に記録を残すようにしています	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		担当の者が参加させてもらっています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている			子ども支援センターや子育て支援課との連携をとれる体制を整えています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			相談支援員の通じて連携できる体制を整えています	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			相談支援員を通じて連携できる体制を整えています	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		最初に電話を入れ情報共有のお願い等させていただいています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	相談支援員を通じて連携できる体制を整えています	学校との連携がなかなかとりにくかった現状でしたが、最近では学校の方も理解を示してくれるようになり今後もっと連携を図っていけるように頑張りたいと思います
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	できる限り連携できる機会があれば参加するようにしています	なかなか参加できる日程での研修がないので今後は自主的に研修を開催できたらと思います
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		地域のお祭りや、子ども食堂への参加をしています	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	代表者のみ参加しています。参加し情報を共有するようにしています	なかなか職員全員が参加できていないのが現状です。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		定期的にモニタリングを行うだけでなく、できる限り送迎等で保護者との会話を大切にしています	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	3		必要性を感じ職員への研修を計画しているところです	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		ゆっくりお話できるように、保護者参加できる日や保護者会など開催しています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			できるだけ多くの保護者さんに参加してもらいたいです
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		その都度臨時職員を配置したりお手紙やお電話で周知できうる限り対応させていただいています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		ラビットグループ通信や、利用カレンダー、年間行事予定など配布しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		マカトンサインを有効的に活用し意思の疎通に役立てています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		地域の方も招待してのラビット祭の開催を予定しています	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		いつでも手に取って見れるところに置くようにしています	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		新人研修の内容に入れています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		アセスメントの時に必ず確認し職員で共有しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		医師からの診断が出ている児童には指示の書かれたものを提出していただいています	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		職員会議等で確認し共有しています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		新人研修の内容に入れています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		基本的に身体拘束は行っておりません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。